

1. ゆりかもめ安全報告書発行にあたって

いつも「ゆりかもめ」をご利用いただき誠に有り難うございます。
当社では、開業以来、多くの皆様に愛され、親しまれている「ゆりかもめ」の安全・確実・快適な運行に努めてまいりました。

しかし、昨年4月の列車脱線事故により、お客様や沿線の皆様に多大なご迷惑をおかけしました。

このため、当社では再発防止策を確実に実施するとともに、何よりもお客様の安全・安心を大切にするとの方針の下、私を先頭に全社員が一丸となって災害に強く、事故のない「ゆりかもめ」を目指して努力しております。

この報告書は、鉄道事業法に基づき、輸送の安全を確保するための当社の2006年度の取組みや安全の実態を、皆様に広くご理解いただくために作成いたしました。

皆様から、この報告書に対するご意見、ご助言をいただければ幸いです。

株式会社ゆりかもめ 代表取締役社長 安間 謙臣

2. 安全方針

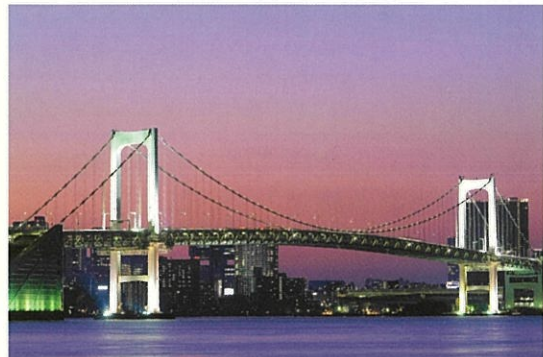
当社は、「安全方針」を次のように掲げ、社員全員に周知・徹底しております。

● ゆりかもめ安全方針 ●

私たちは、お客様の安全・安心を何よりも大切にし、災害に強く、事故のない新交通ゆりかもめをめざします。

このため

- 一致団結して輸送の安全確保に努めます。
- 輸送の安全に関する法令及び関連する規程をよく理解するとともにこれを遵守し、厳正、忠実に職務を遂行します。
- 事故・災害等が発生したときは、人命救助を最優先に行動し、すみやかに安全適切な処置をとります。
- 情報は漏れなく迅速、正確に伝え、透明性を確保します。
- 常に安全に関する問題意識を持ち、必要な改善に取組みます。



3. 2006年度事故・輸送障害等の概要

(1) 運転事故

昨年度は、脱線事故が1件発生しました。2006年4月14日、船の科学館駅を出発した新橋行き列車が、車輪(ゴムタイヤ)を取付けている部品の破損により、車体が傾いて停止しました。幸いにも怪我をされたお客様はいらっしゃいませんでしたが、2日半に及ぶ運休により多大なる御迷惑をおかけしました。当社では車両の当該部品を全て新品に交換するとともに、点検を強化し再発防止に努めています。

(2) 輸送障害(30分以上の遅延や運休)

昨年度は、4件発生しました。内訳は信号保安装置故障によるもの1件、非常停止操作によるもの1件、いたずらによるもの1件、8月の首都圏における大規模停電によるものが1件でした。

なお、大規模停電の教訓を踏まえて、速やかに運転が再開できるよう列車運行基準の見直しを行いました。

(3) インシデント(事故の兆候)

昨年度、国土交通省へのインシデント報告はありませんでした。

(4) その他

○戸挟み

昨年6月、お客様が車両のドアに手を挟まれ負傷されました。再発防止のため戸挟み検知機能の向上及び点検を強化しております。

○不審物による異臭

昨年7月、車内に塩酸をまかれる事件が起こりました。犯人は逮捕されましたが、巡回・点検を強化して再発防止に努めております。

4. 輸送の安全確保のための取組み

(1) 安全確保のための設備

ゆりかもめは、ATO(自動列車運転装置)による無人運転を行っており、ATC(自動列車制御装置)・ホームドア設備等により、安全を確保しております。

○ATC(自動列車制御装置)

全線でATCを装備しており、当該列車の進路上にある先行列車との間隔、線路条件に応じた速度制限信号を車両に与え、列車の自動運転・手動運転にかかわらず、列車の衝突を防止する等安全運行を確保しています。

○ホームドア

プラットホーム上のお客様の安全を確保するため、ホームドアを全駅に設けています。乗降時以外はホームドアが閉ざされており、列車が到着すると列車の乗降ドアと連動して開閉します。



この他、列車無線装置、非常列車停止装置、インターホン、監視カメラ等を備えております。

(2) 安全重点施策

当社では主な安全重点施策を次のとおり定めて取り組んでいます。

項目	内容	2006年度進捗	完了予定
安全推進室の設置	基本的な安全管理体制確立のため「安全推進室」を設置	——	2007年4月設置
非常時の運転取扱技術の向上	有人運転時の特別取扱訓練の実施(2カ年計画)	対象85人の内24人実施	2007年度
走行路の保全	案内軌条継目装置の改良型への交換(6カ年計画)	200カ所(全体1245カ所の内621カ所完了)	2009年度
自然災害への備え	風速計の1基増設(現在3基)	——	2007年度
	地震計の更新	2006年7月完了	——

(3) 教育訓練

社員及び請負業者等、安全運行に関係する全ての者に対して、昨年10月に新たに定めた安全管理規程についての研修を実施し、安全意識の向上を図っています。また、所轄消防署から講師を招き、2006年度において社員の約3割にあたる60名がAED(自動体外式除細動器)を使用した心肺蘇生等の救命講習を受講しました。本年も引き続き救命講習を受講する予定です。

(4) 異常時訓練

昨年度は、運転事故等の緊急時を想定した避難誘導訓練を実施しました。本年度は、地震・火災等を想定した異常時対応訓練を実施する予定です。



(5) 安全のための支出

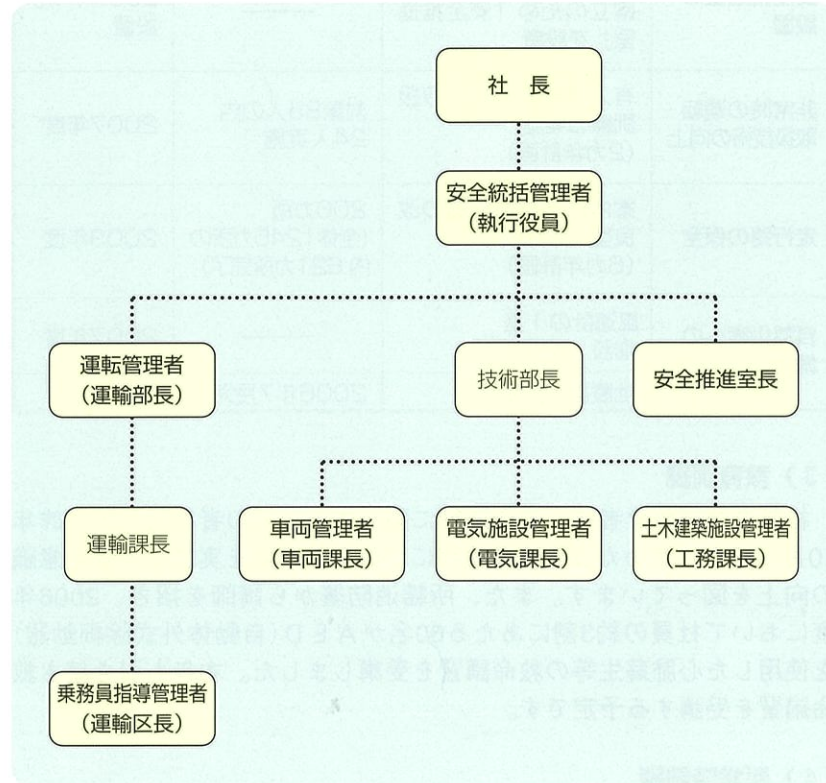
安全の維持・向上のため、営業収入の約15%に当たる総額12億円を駅の巡回警備や施設・車両の修繕費等に充てています。
なお、2007年度は、風速計の増設等を実施する予定です。

5. 当社の安全管理体制

(1) 安全管理組織図

昨年10月の安全管理規程制定により、当社では、社長を筆頭とする安全管理組織を再構築しました。

各責任者は、それぞれの責務を明確にし、安全確保に取り組んでまいります。



(2) 役職と責務

社長	輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負う。
安全統括管理者	輸送の安全確保に関する業務を統括する。
安全推進室長	安全統括管理者の指揮の下、事故防止に関する事項を統括する。
運転管理者	安全統括管理者の指揮の下、運転に関する事項を統括する。
乗務員指導管理者	運転管理者の指揮の下、乗務員の資質保持に関する事項を管理する。
土木建築施設管理者	安全統括管理者の指揮の下、土木・建築施設に関する事項を統括する。
電気施設管理者	安全統括管理者の指揮の下、電気施設に関する事項を統括する。
車両管理者	安全統括管理者の指揮の下、車両に関する事項を統括する。

6. お客様へのお願い

ゆりかもめでは、駅構内に設置されているカメラにより、監視を行うとともに、お客様の多い時間帯は、案内スタッフによるお客様の誘導をさせていただいております。

また、万が一の事態に備えて、列車を停止させることができる「非常列車停止ボタン」をホーム及び車内に設置しております。昨年度は、ホーム上の設置場所がよりわかりやすくなるように表示板を改良いたしました。

お客様が安全にご利用いただけるよう、かけ込み乗車や発車ベルが鳴ってから無理な乗車はされないようお願いいたします。

今後とも安全運行にご協力をお願いいたします。



7. ご連絡先

本安全報告書や当社の安全への取組みに対するご意見・ご感想をお寄せください。

総務部 総務課

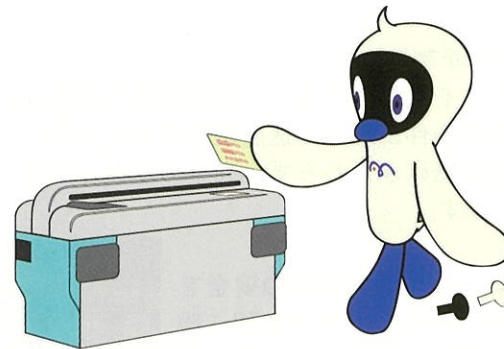
Tel 03-3529-7777 (代)

月～金 9:00～17:30 (祝日・年末年始を除く)

Fax 03-3529-7770

ホームページ「お客様の声」

<https://www.yurikamome.co.jp/faq/voice.php>



ゆりかもめ



ゆりかもめ安全報告書 ～ 2007 ～



この安全報告書は、当社における輸送の安全確保のための取組みや安全の実態をまとめたものです。

(2007年9月発行)

会社名	株式会社ゆりかもめ
区間	新橋～豊洲 (東京都港区～江東区)
営業キロ	14.7km
駅数	16駅
所要時間	31分 (新橋～豊洲)
運転方式	コンピュータ制御による無人運転

ゆりかもめは全線高架で都心と臨海副都心を結ぶ眺望の良い新交通です。

